

COMMON BUT UNDERRECOGNIZED DISEASE

PRECORDIAL CATCH

SYNDROME

- TEXDOR'S TWINGE -

- あらゆる年齢で見られるが、特に6-12歳の小児期、12-19歳の青年期に多い胸痛疾患で性差はない
 - 労作との関連はなく多くは安静時に出現するが、就眠中にはない
 - どちらかという活動性の低いタイプに多い
 - 痛みは突然起こり、深吸気で増強する特徴があり、時に体位変換で増悪する
 - 痛みの性質は鋭く、「刺すような」と表現され、持続は30秒から3分までと短い
 - 痛みの頻度は頻回ではなく、週1, 2度程度のことが多い
 - 痛みの領域は左前胸部の乳頭部周辺で、指一本か二本で示せる範囲に限局し、局在は明らかだが、明らかな圧痛ははっきりしない
 - 動悸などの随伴症状はないが、痛みが激しい時は視力を失うように感じることがある
 - 心電図、胸部X線には特異的所見はない
 - メカニズムは不明だが、筋骨格系由来（局所的な肋間筋痙攣）、末梢神経由来（肋間神経）と考えられている
 - 治療は特に要しないことが多く、自然寛解し、予後は良好
 - 鑑別を要する疾患：HERPES ZOSTER, 肋間神経痛、胸膜炎、胸郭形成異常に伴う胸痛（漏斗胸、扁平胸、STRAIGHT BACK SYNDなど）
- KEY REFERENCE
- 1) MILLER AJ, TEXDOR TA. "PRECORDIAL CATCH" A NEGLECTED SYNDROME OF PRECORDIAL PAIN. JAMA 1955; 159:1364-1365.
 - 2) PICKERING D. "PRECORDIAL CATCH SYNDROME". ARCH DIS CHILD 1981; 56:401-403.
 - 3) GUMBINER CH. PRECORDIAL CATCH SYNDROME. SOUTHERN MEDICAL JOURNAL 2003; 96: 38-41.

秋田県総合診療・家庭医研修センター
第6回あきくみ総合診療カンファレンス
OCT 5, 2012